



私が生まれたとき、
アメリカのロケットが人を月まで
運びました。

私が生まれたとき…
それは私自身が私を意識したときだろうか。
そのときが思い出せない。

鉛 筆 画
長沢秀之ドローイング + 奄美の人たちの文章

対話「私が生まれたとき」奄美編

会期 平成30年3月25日(日)～4月15日(日) 時間 9:00～18:00 (最終日は16:00まで)

場所 田中一村記念美術館 企画展示室

主催 対話「私が生まれたとき」奄美編実行委員会(仮) 共催 鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館
後援 あまみエフエム・ディ!ウェイヴ、奄美新聞社、南海日日新聞社、南日本新聞社、武蔵野美術大学、NHK鹿児島放送局
お問合せ 田中一村記念美術館 0997-55-2635

このたび、田中一村記念美術館では、人間のもつ視覚の不思議さと見ることへのこだわりから表現を展開する長沢秀之（1947年 埼玉生まれ）の奄美大島での初の展覧会を開催します。

長沢は2012年以降、様々な土地で出会った人々との交流をドローイングと文章で紹介する『対話「私が生まれたとき」』シリーズに取り組んでおり、本展では奄美編をご紹介します。

本シリーズで長沢は、個人から写真の由来やいきさつについて聞き取り、「私が生まれたとき」で始まる文章と写真を基にドローイングを描くというプロセスで作品を制作しています。長沢は写真からドローイングを描く行為をとおして、今はもうない残された一瞬から、観る者が過去から現代までつながる多くの物語を感じられるような体験をさせてくれます。

本展は、長沢が2016年夏から2017年春までにかかわった奄美の人々を基にした作品群を展覧します。長沢が生み出したドローイングとそれに添えられた個人史にふれる体験をとおして、長沢秀之の絵画の世界と新しい奄美の魅力をご体感ください。

2017年12月23日
田中一村記念美術館 前野耕一

「私が生まれたとき…奄美は南国の日差しを浴び、香りたつ潮風の吹き抜けるのどかな島であった。」

イベント

フロアトーク 長沢秀之+奄美の人たち

平成30年3月25日（日）14:00～

田中一村記念美術館企画展示室／参加無料

アクセスマップ

